



Autumnal Equinox Day：授業アイデア（簡単版）

秋分の日をテーマにした英語の授業アイデア 4本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 昼と夜、どっちが長い？データで確かめよう

中学・30分

🌀 日の出・日の入りの時刻から昼の長さを計算し、英語で結果を説明する。

1. 国立天文台の暦計算室などで、秋分の日のでんの日の出・日の入りを調べる。
2. 昼と夜の長さを計算し、予想（同じ）と結果をくらべる。
3. The day is ____ minutes longer than the night. の形で英語で発表する。
4. なぜ昼が長いのか、上の端の定義と光の屈折を日本語で確認する。

2. 外国人に「お彼岸」を説明しよう

高校・25分

🌀 宗教的な行事を、相手に配慮したやさしい英語で説明する。

1. 会話文を読み、お彼岸の説明に使われている表現（Buddhist week / remember our ancestors）を確認する。
2. おはぎ・彼岸花・お墓参りのうち1つを選び、2～3文で説明を書く。
3. ペアで説明し合い、相手から1つ質問を受けて答える。

3. 世界の秋分マップ

大学・45分

🌀 メキシコ・イギリス・中国・韓国などの秋分の過ごし方を比べ、天文と文化の関係を英語で議論する。

1. 国別くらの表から担当を決め、英語の資料で詳しく調べる。
2. 地図に各国の行事を書きこみ、共通点（収穫・祖先・太陽）を探す。
3. "Why do so many cultures care about the equinox?" について小グループで議論し、要点を発表する。

4. おはぎの名前クイズ

小学校・15分

🌀 季節と花の英語を覚えながら、ぼたもち・おはぎの名前の由来を楽しむ。

1. spring / summer / autumn / winter と、peony（牡丹）・bush clover（萩）の絵カードを見せる。
2. 「春のおもちは何の花の名前？」とクイズを出し、カードを合わせる。
3. 夜船・北窓の別名も紹介し、季節の英単語を言いながらカードを並べる。



1. 昼と夜、どっちが長い？データで確かめよう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／30分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

秋分の日の日の出・日の入りの時刻から昼と夜の長さを計算し、The day is ____ minutes longer than the night. の形で英語で結果を説明できる。

準備

- 国立天文台 暦計算室のウェブページで調べた、地元の秋分の日の日の出・日の入りの時刻（端末が使えない場合は先生が事前に調べて表にしておく）
- 計算用のワークシート（日の出・日の入り・昼の長さ・夜の長さ・差の欄）
- 太陽と地平線の図（太陽の上の端が地平線にかかる瞬間を示したもの）
- このサイトの英語ページ本文の第5段落と音声

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	equinox は「等しい夜」という意味だと伝え、「秋分の日、昼と夜の長さは同じ？」と聞いて、Yes / No で手を挙げさせる。予想をワークシートに書かせる。	秋分の日、昼と夜の長さを予想し、ワークシートに書く。	"Equinox means equal night." "On the equinox, are day and night the same length?" "Raise your hand. Yes or no?" "Write your guess on the worksheet."
展開1	8	国立天文台 暦計算室のページで、地元の秋分の日の日の出・日の入りの時刻を調べさせる（端末がない場合は先生の表を配る）。sunrise / sunset の語を確認し、時刻を英語で読む練習をする（The sun rises at five thirty-one.）。	日の出と日の入りの時刻を調べ、英語で読む。	"Let's find the sunrise and sunset times for our town." "What time does the sun rise?" "The sun rises at five thirty-one. Say it with me." "Now find the sunset time."
展開2	8	昼の長さ（日の入りー日の出）と夜の長さ（24時間ー昼の長さ）を計算させ、差を出させる。参考に、記事にある2020年の春分の日（東京の例）（昼が約12時間8分、夜が約11時間52分で、昼が約16分長い）を示す。予想と結果をくらべさせる。	昼と夜の長さを計算し、差を出す。予想と結果をくらべる。	"Day length is sunset minus sunrise." "Night length is 24 hours minus the day length." "Which is longer? How many minutes?" "Was your guess right?"
展開3	6	The day is ____ minutes longer than the night. の型を板書し、数人に結果を発表させる。英語ページ第5段落の音声を聞かせ、In Tokyo, the day is still more than 10 minutes longer! の文で答えを確かめる。	型を使って結果を英語で発表する。本文の音声を聞いて確かめる。	"Tell us your result. The day is ____ minutes longer than the night." "Listen to the last paragraph of the English page." "In Tokyo, the day is more than 10 minutes longer. Same as ours?"
まとめ	4	なぜ昼が長いのかを日本語で確認する。①日の出・日の入りは太陽の「上の端」が地平線にかかる瞬間と決められている、②空気がレンズのように光を曲げるので、太陽が実際より少し浮き上がって見える（屈折）。太陽と地平線の図で説明して終わる。	昼が長くなる2つの理由を図で確かめ、ノートに書く。	"Why is the day longer? There are two reasons." "One: sunrise starts when the top of the sun appears." "Two: the air bends the sunlight." "So the equinox is not really equal night!"

板書例

Equinox = equal night ?

予想：Yes / No

sunrise ____ sunset ____

day = sunset - sunrise = ____ h ____ min

night = 24 h - day = ____ h ____ min

The day is ____ minutes longer than the night.

（例：2020年春分・東京 day 約12h08m / night 約11h52m）

なぜ？ ① 太陽の「上の端」で日の出・日の入り

② 空気が光を曲げる（屈折）

評価のポイント

- 日の出・日の入りの時刻から、昼と夜の長さを正しく計算できたか。
- The day is ____ minutes longer than the night. の形で結果を言えたか。
- 昼が長くなる2つの理由を、自分の言葉で説明できたか（ノートで確認）。

つまづきへの手だて

- 時間の引き算が苦手な生徒には、時刻を分に直して計算する方法（5時31分＝331分）を示す。
- 時刻を英語で読めない生徒には、five / thirty-one のように数字を2つに分けて読めばよいと伝える。
- 理由がわかりにくい生徒には、コップの水に入れたストローが曲がって見える例で屈折を説明する。

発展

- 冬至・夏至の日の出・日の入りも調べ、昼の長さの違いをくらべる（In winter, the day is ____ hours long.）。
- 記事の豆知識（秋分の瞬間は毎年約6時間ずつ遅れる）を紹介し、なぜ日付が22日と23日が変わるのかを考える。
- 基本セット p.2 の TF で本文の内容を確かめる。

使う教材

- 国立天文台 暦計算室の日の出・日の入りのデータ
- このサイトの英語ページ本文（第5段落）と音声
- 基本セット p.2（4択・TF）



2. 外国人に「お彼岸」を説明しよう

授業手順書（詳細版）／対象：高校／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

おはぎ・彼岸花・お墓参りのうち1つについて、宗教を押しつけない言い方（Many families in Japan _____.）を使い、2〜3文のやさしい英語で説明して、相手の質問に答えられる。

準備

- このサイトの英語ページの会話（Liam と Yui）のプリントと音声
- おはぎ・彼岸花・お墓参りの写真カード
- 配慮した言い方のカード（Many families in Japan _____. / Some people believe _____. / It's a time to _____. / You don't have to _____.）
- アクティビティ集 B3 ロールプレイのカード

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	会話の音声を聞かせ、そのあとペアで読ませる。Liam が In Australia, it's spring now! という場面で、南半球では季節が逆になることも確認する。お彼岸の説明に使われている表現（a Buddhist week / remember our ancestors / visit their graves）に線を引かせる。	会話を聞いて読み、お彼岸の説明に使われている表現に線を引く。	"Listen to Liam and Yui. Then read it with your partner." "Why does Liam say it's spring now?" "Find the words Yui uses to explain Higan." "A Buddhist week. Remember our ancestors. Visit their graves."
展開1	8	おはぎ・彼岸花・お墓参りのうち1つを選ばせ、2〜3文の説明を書かせる。宗教の話は「みんなが信じている」と言い切らず、Many families in Japan _____. / Some people believe _____. のように主語をしぼると、相手の信仰を尊重できることを伝える。彼岸花は毒があるので摘まないことなど、相手の役に立つ情報を1つ入れるよう促す。	1つのテーマを選び、配慮した言い方を使って2〜3文の説明を書く。	"Choose one: ohagi, higanbana, or visiting graves." "Write two or three sentences." "Say many families or some people, not everyone in Japan." "Add one useful tip. For example, don't pick higanbana. They are poisonous."
展開2	9	ペアで留学生役と説明役に分かれ、説明したあと留学生役が質問を1つする（Why do you eat ohagi? / Do I have to pray?）。説明役は答える。役を交代し、相手を変えてもう1回行う。先生は回りながら、相手を尊重したよい答え方を拾ってメモする。	ペアで説明し、相手の質問に1つ答える。役と相手を変えてくり返す。	"A is a student from abroad. B explains." "A, ask one question after you listen." "Do I have to pray? Good question. How will you answer?" "Switch roles. Then find a new partner."
まとめ	4	先生がメモしたよい答え方を紹介する（You don't have to pray. You can just stand with us. など）。祝日法の意味は「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」で、特定の宗教は指定されていないことを伝え、どんな人にも開かれた説明ができることを確認する。	よい答え方を聞き、自分の説明に1文書き足す。	"Here is a kind answer I heard. You don't have to pray. You can just stand with us." "By law, this day is for remembering people who have died." "Anyone can join, with any religion or no religion."

板書例

Higan = a Buddhist week in spring and fall

ohagi : sticky rice with sweet red bean paste

higanbana : red flowers along rice fields (poisonous!)

graves : Many families visit and clean their family graves.

配慮した言い方

Many families in Japan ____.

Some people believe ____.

It's a time to remember ____.

You don't have to ____.

評価のポイント

- 選んだテーマについて、2〜3文で正確に説明できたか。
- Many families / Some people など、相手の考えを尊重する言い方を使えたか。
- 相手の質問に、内容がかみ合った答えを返せたか。

つまづきへの手だて

- 書き出せない生徒には、会話の Yui のせりふをそのまま使い、1語だけ変える形から始めさせる。
- 宗教の話題を説明しにくいと感じる生徒には、おはぎか彼岸花（食べ物・花）を選ぶよう助言する。
- 質問が思いつかない留学生役には、質問カード（Why? / When? / Can I ____?）を渡す。

発展

- Higan is only in Japan. のように、お彼岸が日本独自の習わしであることを英語で1文加える。
- 英語ページの discussion（What do you usually do during Higan week?）でペアトークをする。
- 基本セット p.7 の作文（On Autumnal Equinox Day, I want to thank _____ because _____）を書く。

使う教材

- このサイトの英語ページの会話と音声
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 基本セット p.7（作文）



3. 世界の秋分マップ

授業手順書（詳細版）／対象：大学／45分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

メキシコ・イギリス・中国・韓国などの秋分前後の行事を英語の資料で調べて比べ、"Why do so many cultures care about the equinox?"について天文と文化の関係を英語で議論できる。

準備

- 記事の国別くらべの表（メキシコのチチェン・イツァ、イギリスのストーンヘンジ、中国の農民豊作祭、韓国のチュソク、アメリカの the first day of fall、日本の春分の日）
- 大きな世界地図（模造紙）と付せん
- 調べものの用の端末（グループに1台）
- アクティビティ集 B5 国くらべの表

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	5	チチェン・イツァのピラミッドの階段に三角形の影が並び、ヘビが降りてくように見える写真を見せ、「なぜ古代の人はこの日に合わせて建物を作ったのか」と問う。担当の国・地域を割りふる。	写真を見て、古代の人が分点を気にした理由を予想する。担当を確認する。	"Look at this pyramid in Mexico. Do you see the snake of light?" "It appears around the equinox." "Why did ancient people build this?" "Today, each group will research one place."
展開1	13	国別くらべの表を出発点に、英語の資料で担当の行事を詳しく調べさせる（日付・内容・始まり・天文とのつながり）。出典を1つ以上書かせ、観光情報だけでなく公式機関や百科事典を優先するよう指示する。韓国のチュソクは秋分そのものではなく旧暦8月15日であること、中国の農民豊作祭は2018年からであることなど、表の細部の正確さに注意させる。	担当の行事を英語の資料で調べ、4項目と出典をまとめる。	"Research four points: date, what people do, origin, and the link to the sun." "Use English sources. Write at least one reference." "Be careful. Chuseok is not on the equinox itself." "It follows the lunar calendar."
展開2	10	各グループの代表が世界地図に付せんを貼り、行事を1分で紹介する。全員で地図を見ながら、共通点（収穫・祖先・太陽）ごとに付せんの色を変えて分類させる。	地図に行事を書きこみ、紹介する。共通点ごとに分類する。	"Put your sticky note on the map and explain it in one minute." "Now let's sort them. Harvest, ancestors, or the sun?" "Some events fit more than one group." "What patterns do you see?"
展開3	12	4～5人の小グループで "Why do so many cultures care about the equinox?" を議論させる。観点の例（農業の暦として・季節の変わり目の目印・東西という方角の意味）を示す。日本では秋は祖先、春は自然と意味が分けられていることや、お彼岸が日本独自の習わしであることも材料にしてよい。書記は要点を3つにまとめる。	小グループで議論し、要点を3つにまとめる。	"Discuss this question: Why do so many cultures care about the equinox?" "Think about farming, seasons, and directions." "In Japan, the sun sets due west. Why is that important for Higan?" "Write down three main points."
まとめ	5	各グループが要点を1つずつ発表する。重なった論点を板書でまとめ、「天文の現象に、それぞれの文化が別の意味をつけてきた」ことを確認する。	要点を発表し、ほかのグループとの共通点を確認する。	"Each group, share one main point." "Many groups talked about the harvest." "The sky is the same, but each culture gives it a different meaning."

板書例

The Equinox around the World

Mexico Chichen Itza : snake of light on the pyramid
UK Stonehenge : free entry at sunrise
China Farmers' Harvest Festival (2018～)
Korea Chuseok (旧暦8/15・秋分そのものではない)
USA the first day of fall (not a holiday)
Japan 秋分の日 (ancestors) / 春分の日 (nature)

分類 : harvest / ancestors / the sun

Q: Why do so many cultures care about the equinox?

評価のポイント

- 担当の行事について、4項目を正確な英語でまとめ、信頼できる出典を示せたか。
- 地図上の分類で、共通点（収穫・祖先・太陽）を根拠をもって説明できたか。
- 議論で、天文の現象と文化の関係について自分の考えを英語で述べられたか。

つまずきへの手だて

- 英語の資料探しに時間がかかるグループには、表の英文（Chuseok, the Farmers' Harvest Festival など）を検索語として示す。
- 議論に入りにくい学生には、I think the equinox is important for farmers because ____ の型を渡す。
- 書記の負担が大きいグループには、要点を1つずつ別の人が書く形にする。

発展

- 発展セットの英文を読み、日本の秋分の日が天文で日付を決め、戦後に意味を変えた祝日であることを確かめる。
- 南半球（オーストラリアなど）では9月の分点が春の始まりになることを踏まえ、季節と行事の関係を考える。
- 春分の日の記事と比べ、春と秋で祝日の意味が分けられた理由を英語で書く。

使う教材

- 記事の国別くらべの表
- アクティビティ集 B5 (国くらべ)
- 発展セット (英文・debate)



4. おはぎの名前クイズ

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／15分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

spring / summer / autumn / winter と花の名前を覚えながら、春は「ぼたもち（牡丹）」、秋は「おはぎ（萩）」と呼び分けたという名前の由来を楽しむ。

準備

- 季節の絵カード（spring / summer / autumn / winter）
- 花の絵カード（peony＝牡丹、bush clover＝萩）
- おはぎ（ぼたもち）の写真、夜の船と北向きの窓の絵
- 基本セット p.8 のなぞり書き（autumn など）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	季節の絵カードを1枚ずつ見せ、spring / summer / autumn / winter を発音させる。おはぎの写真を見せ、「お彼岸に食べるおやつ」と紹介する。	季節の英語をまねて言い、おはぎの写真を見て知っているか答える。	"What season is this? Spring!" "Summer. Autumn. Winter. Say it with me." "Look at this sweet. It's ohagi." "People eat it in spring and autumn."
展開1	5	花の絵カード（peony と bush clover）を見せて名前を発音させる。「春のおもちは何の花の名前？」とクイズを出し、子どもに spring のカードの下に花のカードを置かせる。答えは、春は牡丹（peony）で「ぼたもち」、秋は萩（bush clover）で「おはぎ」と呼んだという説がよく知られていることを伝える。	花の名前を言い、季節のカードと花のカードを組み合わせる。	"This flower is a peony. This one is bush clover." "Spring rice cake. Which flower?" "Yes! Peony. So in spring, it's botamochi." "In autumn, bush clover. So it's ohagi."
展開2	5	夏は「夜船（よふね）」、冬は「北窓（きたまど）」と呼んだともいわれることを紹介する。おはぎはおもちのように「ぺったん」とつかずに作るので「つき知らず」。夜の船はいつ「着いた」かわからない、北の窓からは「月」が見えない、というしゃれだと、絵を見せながらやさしく説明する。最後に4つの名前を季節カードの下に並べ、季節の英語を言いながら確かめる。	夜船と北窓の名前の由来を聞き、4つの名前を季節カードの下に並べる。	"In summer, people called it night boat." "In winter, they called it north window." "Let's put the names under the seasons." "Spring, botamochi. Summer, night boat. Autumn, ohagi. Winter, north window."
まとめ	2	季節カードを指して、子どもに季節の英語を言わせる。「同じおやつなのに名前が4つもある」ことを確認して終わる。	季節の英語を言い、今日わかったことを一言で言う。	"Point and say the seasons." "One sweet, four names. Which name do you like?"

板書例

One sweet, four names!

spring 🌸 → peony（牡丹）→ ぼたもち
summer 🌻 → night boat → 夜船
autumn 🍁 → bush clover（萩）→ おはぎ
winter ❄️ → north window → 北窓

※ つかずに作る = 「つき知らず」のしゃれ（といわれる）

評価のポイント

- spring / summer / autumn / winter を絵カードを見て言えたか。
- 春と秋の呼び名と花の組み合わせを、カードで正しく並べられたか。
- クイズに積極的に参加し、答えを予想して言えたか。

つまづきへの手だて

- 季節の英語が出てこない子には、先生が最初の音（sp...）だけ言ってヒントにする。
- 花の名前が難しい子には、英語の花の名前は聞くだけでよく、季節の英語に集中させる。
- しゃれの説明がわかりにくい子には、「夜の船は着いたのが見えない」「北の窓から月は見えない」の絵だけを見せる。

発展

- 基本セット p.8 のなぞり書きで autumn / flower を書き、ぬりえで彼岸花をぬる。
- 基本セット p.3 のマッチング（red flower / chestnut / night など）で秋の物の英語を覚える。
- 家でおはぎとぼたもち、どちらの名前で呼んでいるか聞いてくる。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.8（なぞり書き・ぬりえ）
- このサイトの英語ページ本文（第3段落）の音声